

令和2年度 第3回 八戸市地域公共交通会議
岩手県北自動車（株）報告案件

五戸八戸線高館経由の廃止 及び 五戸八戸駅線上市川経由 の新設について

このことについて、下記の通り五戸八戸線高館経由の廃止及び五戸八戸駅線上市川
経由の新設を実施したく、計画中であることをご報告いたします。

1. 報告事項

- ・五戸八戸線高館経由の廃止及び五戸八戸駅線上市川経由の新設について

2. 実施予定日

- ・令和3年4月1日

3. 添付書類

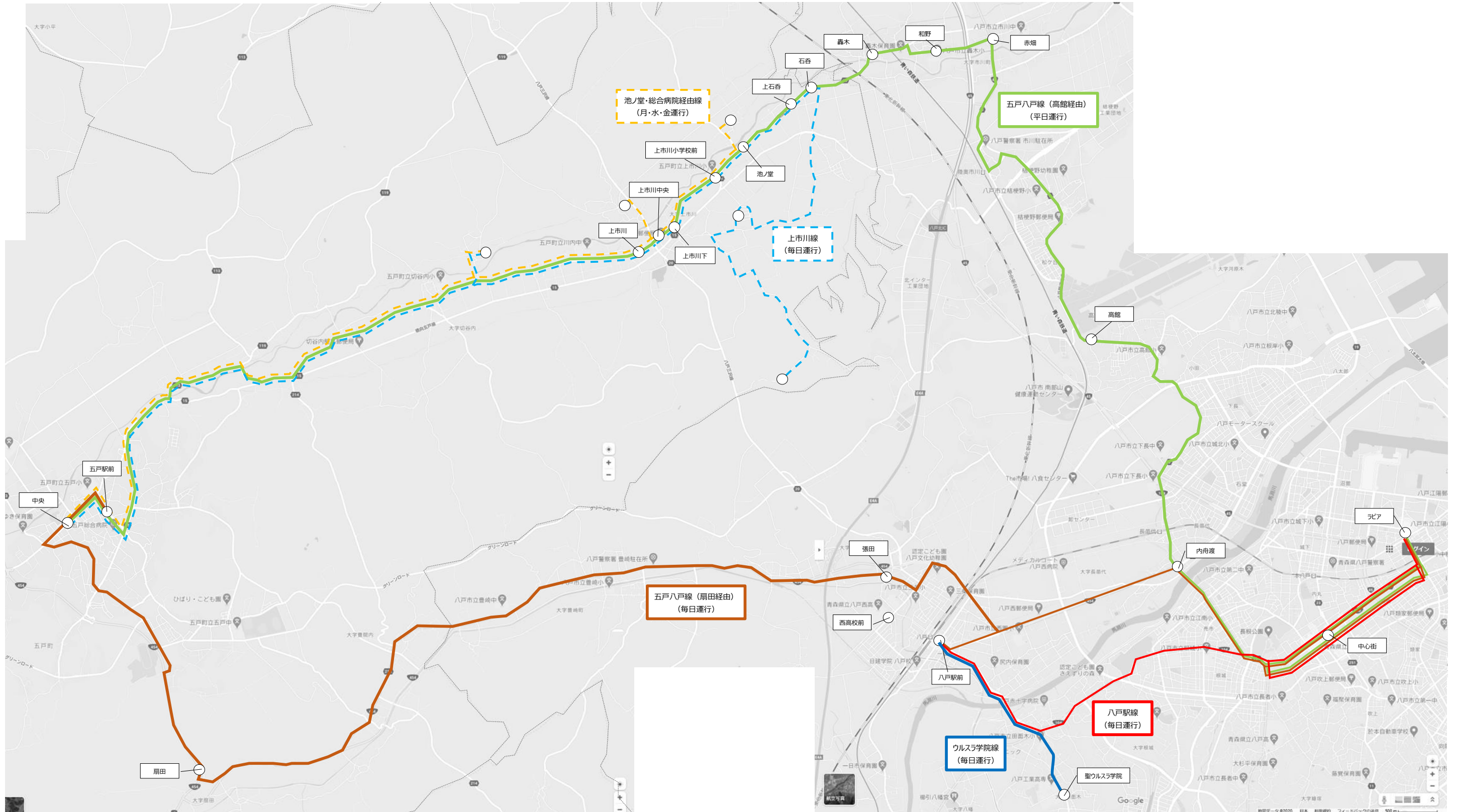
- ・別紙「五戸八戸線高館経由の廃止及び五戸八戸駅線上市川経由の新設について」

五戸八戸線高館経由の廃止及び五戸八戸駅線上市川経由の新設について

1. 経緯・現状

- 五戸八戸線高館経由（以下、高館経由）と五戸八戸線扇田経由（以下、扇田経由）の2路線は、五戸町と八戸市を結ぶ地域間幹線系統（国庫補助路線）であり、五戸町民が八戸市へ移動するための主要な路線です。
 - 高館経由は、五戸町の中心地にある中央バス停を起点に、五戸町内の上市川地区、八戸市内の高館地区、中心街を経由してラピアバスターミナルまで至る路線です。
 - 高館経由の五戸町内区間の利用者は全利用者の16%にとどまっていますが、五戸町内から八戸中心街方面への通勤や通学の手段として、欠かせない役割を担っています。
 - しかし、近年の高館経由は路線全体で利用者数が減少しており、利用者からの運賃収入だけでは運行経費を賄えておらず、運行を維持するために国、青森県、八戸市、五戸町から運行経費の一部を負担して頂いております。
-
- 五戸町内の唯一の高校である五戸高校は、2020年度入学から募集停止、2021年度末に廃校が予定されており、多くの高校が立地している八戸市内への通学手段の確保が重要となっています。
 - 五戸町内の上市川地区（川内中学校区）には、高館経由と五戸町コミュニティバスの上市川線が運行していますが、高館経由は中心街方面、上市川線は五戸町の中心地方面への運行となっていることから、直接八戸駅へ行くバス路線は運行していません。
 - 2019年度に実施した中学3年生対象の進路と移動手段に関するアンケートでは、川内中学校の生徒の内、バス通学希望者の進路先は中心街が多く、八戸駅周辺の高校（八戸西高校、八戸高専、聖ウルスラ学院）への通学や八戸駅から鉄道を利用しての通学は、保護者による送迎が中心となっています。
 - 過去には、中央バス停を起点に、五戸町内の上市川地区と八戸市内の張田地区を経由して八戸駅に至る路線（以下、張田経由）が運行していました。
 - そこで五戸町から、上市川地区から八戸駅へのアクセス手段の確保として張田経由の復活の要望ありました。
 - 一方で、高館経由や扇田経由を運行している当社南部バス（岩手県北自動車南部支社）の五戸営業所では運転士不足が深刻であり、現行サービス水準の維持が課題となっていることから、現行路線のサービス水準を維持しながら、張田経由の運行を開始することは、非常に困難な状況でした。
-
- このような背景のもと、利用者の利便性を確保でき、沿線自治体・利用者・運行事業者の負担が過度にならない高館経由のあり方を五戸町・八戸市・八戸市交通部・南部バスにて検討を行いました。
 - 高館経由と旧張田経由（新名称：五戸八戸駅線上市川経由）を一体的に検討することとし、五戸町内の中心地や上市川地区から八戸駅周辺や中心街への移動が可能となるバス路線を検討しました。検討にあたっては、沿線自治体の適正な財政負担のもと、限られた人的資源の中で持続可能なサービス水準を前提としました。

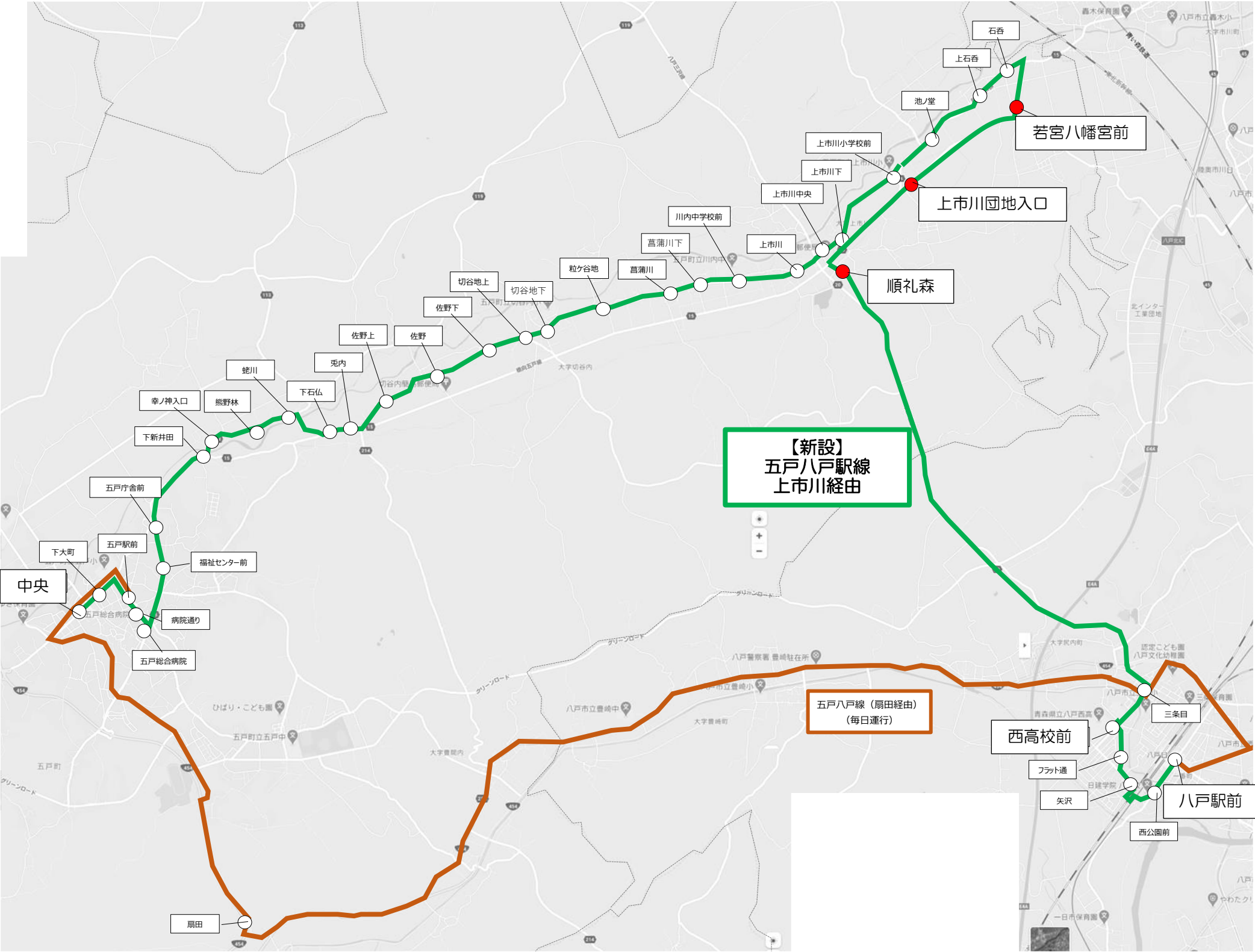
図 現在の高館経由と扇田経由の路線図



2. 五戸八戸駅線上市川経由の新設

- 2021 年 4 月から利用者が減少している高館経由を廃止し、上市川地区から八戸駅周辺へアクセスする五戸八戸駅線上市川経由（以下、上市川経由）を新設します。
- 上市川経由は、五戸町内は高館経由と同じ「中央～石吞」に加え、新設バス停の「若宮八幡宮前」「上市川団地入口」「順礼森」を経由したのち、八戸市内の「西高校前」を経由して「八戸駅前」に至ります。
- 上市川地区から八戸駅周辺への通学利用に対応するため、通学時間帯を中心に平日 3 往復、土日祝 1 往復を運行します。また、中心街方面への移動に対応するため、八戸駅にて扇田経由や八戸駅線との接続を図ります。
- 運行を維持するために、国庫補助（地域内フィーダー系統補助）の活用を目指すとともに、五戸町が運行経費の一部を負担します。

図 再編後の上市川八戸駅線の路線図



＜五戸八戸駅線上市川経由の運行概要＞

- 通学時間帯を中心に平日 3 往復、土日祝 1 往復
- 所要時間※と運賃
 - 中央～八戸駅前：約 50 分・520 円
 - 上市川～八戸駅前：約 30 分・520 円
 - 川内中学校前～西高校前：約 25 分・520 円
 - 五戸町内のみ利用は 100 円
- 中心街方面の利用は八戸駅にて扇田経由や八戸駅線に接続できるようにダイヤを調整

＜高校生の通学利用に対応＞

- 八戸西高校に乗り継ぎなしで通学できる。
- 八戸駅にて青い森鉄道に乗り継ぐことで三戸・二戸方面の高校や三沢方面の高校に通学できる。
- 八戸駅にて他のバス路線に乗り継ぐことで中心街方面の高校、八戸高専や聖ウルスラ学院に通学できる。
- 中心街方面への通学は、八戸駅にて乗り継ぎが必要となるが、五戸町内から中心街までの通学定期券の販売額は現在と変わらない。

※所要時間は現段階での目安の時間であり、今後変更の可能性あり